

ひとよし市議会だより

2017/ 第 92 号 / 平成 29 年 5 月 15 日

発行：熊本県人吉市議会 / 議会報編集委員会



初々しい新一年生たち

CONTENTS

主な 内容

- P 2 定例会報告
- P 2 ～ 4 各委員会報告
- P 5 ～ 8 一般質問
- P 9 議決結果
- P 10 議会報告会及び意見交換会報告、編集後記

市のホームページでもご覧になれます。

URL <http://www.city.hitoyoshi.lg.jp> / E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

厚生委員会報告

●委員長 三倉 美千子 ●副委員長 塩見 寿子
●委員 高瀬 堅一・井上 光浩・村上 恵一・仲村 勝治

10月から子ども医療費完全無料化へ

平成26年7月診療分から助成対象を中学3年生までに引き上げられた現行制度（小・中学生は一部自己負担：1医療機関につき入院1日2,000円、通院1日500円）ですが、今年の10月1日以降の診療分からは、小学1年生以上の児童・生徒の皆さんも医療費が完全無料化となります。

今議会でも3名の議員が医療費無料化について一般質問を行い、市民の方も関心が高い案件でしたが、3月議会最終日に全会一致で制度改正のための条例案が可決されました。

委員会の審査では、主に財源の裏付けについて活発に議論がありました。市担当部から、

- ＊クリーンプラザの償還が29年度に終わること。
 - ＊クリーンプラザの大規模改修があったとしても負担の平準化に努めること。
 - ＊今後の児童・生徒数は微減傾向にあること。
 - ＊6歳までが受診率が高く、それ以降は低くなること。
 - ＊無料化による医療費の伸びは、横ばい、もしくは減少傾向にある自治体が多いこと。
- こういった裏付けにより判断したとの説明、報告

がありました。

自主財源の確保、扶助費の増大といった今後予想される問題もあるため、将来を見据え他の施策に支障を来さない健全財政に努めてほしいといった意見を付して可決しました。

厚生委員会所管部局の当初予算を承認

市民部予算の主なもの

- ・熊本県後期高齢者医療広域連合負担金 5億5,944万1,000円
- ・人吉球磨広域行政組合負担金（し尿・ごみ処理・葬斎場） 8億2,482万円
- ※前年度と比べ1億3,403万8,000円の減

健康福祉部予算の主なもの

- ・各種検診（健診）委託料 6,270万5,000円
- ・子ども医療費 1億1,773万8,000円

水道局予算の主なもの

- ・市内13カ所の配水管改良工事 1億2,900万円
- ・矢黒町汚水中継ポンプ場改築更新工事委託料 7,300万円

経済建設委員会報告

●委員長 平田 清吉 ●副委員長 福屋 法晴
●委員 大塚 則男・豊永 貞夫・笹山 欣悟・永山 芳宏

人吉市景観計画等策定審議会条例案承認

内容は、地方公共団体の執行機関の附属機関として人吉市景観計画等策定審議会を設置するため、新たに条例を制定するものです。

審議会は、委員15人以内をもって組織され、景観法に基づく本市の「景観計画」及び「景観条例」の策定に関することが主な所掌事務です。本年度中に審議会及びワーキンググループで内容が検討され、パブリックコメントを実施し、来年度には景観条例を施行、景観計画を策定・公表する予定です。

平成28年度補正予算及び繰越事業20件を承認

農林水産業費の主なものは、栗選果選別機械の設置労務作業員の確保ができなかったため事業を繰り越す産地パワーアップ事業推進補助金2,474万5千円の減額などです。

土木費の主なものは、交付金の決定及び事業費の確定などによる人吉・球磨スマートインターチェンジ整備に要する経費1億1,311万9千円の減額、社会資本整備総合交付金事業（街路）5,462万1千円の減額などです。

平成29年度経済部・建設部の当初予算を承認

農林水産業費のうち、農業費は2億8,115万1千円で、前年度と比較して437万2千円の減。主なものは、農業次世代人材投資事業、多面的機能支払交付金事業などです。林業費は1億915万円で、前年

度と比較して2,209万9千円の増。主なものはスマート林業展開事業、市有林整備事業などです。

商工費は3億4,150万1千円で、前年度と比較して1,362万6千円の増。主なものは、起業創業・中小企業支援センター事業、観光振興に伴う経費などです。

土木費は23億2,306万3千円で、前年度と比較して8億554万4千円の増。主なものは、住宅リフォーム促進事業、人吉・球磨スマートインターチェンジ整備に要する経費、大規模修繕・更新事業（曙橋補修事業）、社会資本整備総合交付金事業（道路改良・橋梁・街路）などです。



平成31年度の開通に向け整備が進むスマートインターチェンジ（東間下町）

3月定例会報告

平成29年度一般会計予算 165億8,277万4千円 可決（前年度比：14億3,265万円の増）

平成29年3月定例会は、2月27日から3月28日までの30日間の日程で開催しました。

平成29年度一般会計の歳入は、市税については平成28年度当初予算と比較して、生産年齢人口の減少や法人における景気回復の不透明さはあるものの、国の地方財政計画や平成28年度最終決算見込みを勘案し、若干の増額が見込まれています。また、普通交付税も平成28年度の交付実績も考慮し、地方財政計画に示されている減少率により交付総額が見込まれています。

歳出は、平成29年度から新市庁舎建設事業が本格的に動き出すことに伴う事業費や、子ども医療費を中学校卒業まで無料化とするための助成費、移住定住の促進を実現化していくための起業創業・中小企業支援センターの立ち上げ準備の経費などが計上されています。

特別会計も次のとおり可決しました。

人吉球磨地域交通体系整備特別会計	5万1千円	水道事業特別会計	収益的収入	5億4,407万8千円
国民健康保険事業特別会計	50億3,489万2千円		支出	5億 657万1千円
後期高齢者医療特別会計	4億9,396万2千円		資本的収入	4,543万8千円
介護保険特別会計	42億3,662万7千円		支出	3億2,625万5千円
介護サービス事業特別会計	3,255万円	公共下水道事業特別会計	収益的収入	11億3,895万3千円
国民宿舎特別会計	338万円		支出	10億 9,286万円
工業用地造成事業特別会計	1,305万5千円		資本的収入	1億3,320万3千円
			支出	5億 7,898万円

《人事案件》

○固定資産評価審査委員会委員に次の方々を選任同意しました。 佐無田 学 氏・宮原 裕子 氏

平成28年度一般会計補正予算は4,092万8千円減額の総額165億259万4千円となりました。この補正は、国県の補助事業の決定に伴う事業費の確定や、国の補正予算に係る事業費などの補正によるものです。

総務文教委員会報告

●委員長 西 信八郎 ●副委員長 宮原 将志
●委員 宮崎 保・犬童 利夫・本村 令斗・田中 哲

人事院勧告に基づいた人吉市職員の給与に関する条例の一部改正を承認

人事院勧告では、配偶者に係る手当を他の扶養親族と同額まで減額することが適当であるとされました。また、国や自治体全体として少子化対策が推進されていることに配慮し、市職員の配偶者に係る手当額を減額し、子に係る扶養手当額の引き上げを行うものです。

人吉市公民館条例及び人吉市コミュニティセンター条例の一部改正を承認

人吉市大塚公民館及び人吉市大塚コミュニティセンターを、住民の方々の理解を得て、それぞれ人吉市東間公民館大塚分館及び人吉市東間コミュニティセンター大塚分館に位置づけるものです。

平成28年度一般会計補正予算（第10号）として（仮称）旅カフェエントランスセンター整備事業費、学校管理費の組み替えを承認

日本遺産の指定を活かすため人吉球磨の一つの博物館と見立て、その入り口として案内機能を果たす（仮称）旅カフェエントランスセンターを整備するための予算、5,180万円を認めました。

また学校管理費の組み替えは、昨年発生した西瀬小学校プール水道水流失事故に対する西瀬小学校職員からの納入金を充当したことによるものです。議員からの指摘で今回補正がなされたものですが、こ

のことは委員会において注意喚起を行い、議場においても議長より執行部に対し、事務処理を適正に行うよう申し入れがなされました。

一般会計当初予算の総務部関係に27億7,677万7千円、教育部関係に10億7,805万1千円を計上

主なものは、地域おこし協力隊関係予算、麓町本庁舎閉庁式に伴うイベント会場設営等委託料、LED型防犯灯設置工事費、熊本県電子入札共同利用システム負担金、人吉下球磨消防組合負担金、人吉西小と大畑小の屋外トイレ移転改築費、人吉東小の階段手すり取り付けや西瀬小の家庭科室漏水防止、第二中学校のゴミ焼却炉解体工事費などです。



県民体育祭に向けて整備された村山公園テニスコート



3月定例会の一般質問は、3月8日から10日までの3日間で行われました。13人の議員が登壇し、さまざまな視点から、幅広く活発な議論が行われました。その要旨を各議員が報告します。
掲載は質問順としています。

一般質問

相模護国神社前の池にかかる石橋にかかる石橋は



仲村 勝治

問 約700年間、人吉・球磨の藩政が行われたお城の入口が御館御門橋である。全国的にも珍しい石の桁橋は、毎日約500人の領民を動員し、藩士とともに一致団結し、3カ月という短い期間に完成させた。このことは、700年の歴史の中で特筆すべきことである。石橋の歴史的価値は。

答 明和3年（1766年）の銘があり、熊本県内では最古のもので、歴史的価値が認められ、平成6年4月22日に人吉市指定文化財、平成16年10月22日に熊本県指定の重要文化財となっている。大変貴重なものと認識している。

※ その他、公共施設等総合管理計画の組織体制について質した。

中学生までの医療費無料化について



大塚 則男

問 厳しい財政状況の中、中学校卒業までの医療費無料化を実施した場合、市の年間負担額は。

答 平成30年度以降は、年間で約2,250万円の増額を見込んでいる。

問 厳しい財政状況であるなら、医療費抑制の意味でも段階的導入は考えられないか。

答 医療費無料化は歴代の市長公約でもあり、子育て世代の皆様が望まれている施策だと認識している。第5次総合計画後期基本計画でも実施するとしており、ご理解いただきたい。

問 財源についての考えは。

答 クリーンプラザ施設建設の起債償還が終了することで、負担金が減少するため、財源確保ができる見通しがついた。

防災行政情報(デタポン)について



宮崎 保

問 デタポンとは。利用する際の費用は、どのくらいかかるのか。

答 自治体が発表した情報を、テレビのデータ放送を利用して、いち早く閲覧できる新しい防災情報住民サービスである。費用は年間約90万円。熊本県の球磨川水系防災・減災ソフト対策等補助金を活用すると市負担は3分の1の約30万円で済む。

問 良い点は。また発信する情報は。運用開始はいつからか。

答 良い点は、防災行政無線が聞こえにくいなどの問い合わせに、テレビのデータ放送で確認できることで選択肢がふえる。発信項目は防災情報、防災無線、お知らせ、イベント、学校関係の5項目、運用開始は平成29年度の早い時期を考えている。

市庁舎建設に関する特別委員会

- 委員長 永山 芳宏 ●副委員長 高瀬 堅一
- 委員 塩見 寿子・犬童 利夫・西 信八郎・笹山 欣悟・村上 恵一・三倉 美千子・仲村 勝治

新たな配置計画検討案を承認

新庁舎建設予定敷地内の配置計画案については、12月定例議会委員長報告の中で、敷地内にある都市下水路をそのまま残し、青少年ホームから総合福祉センターまで通る市道808号線を付け替えるA案に決定していましたが、市から、次のような説明と新たな提案がありました。

●その後検討を重ねた結果、市道808号線を現存のまま活用し、都市下水路を付け替えるという新たな案（C案）が浮上し、新庁舎と西間別館を含めた敷地の一体的な活用、事業費の抑制及び施工の効率性等の面から、現行案（A案）と比較しても様々なメリットがあることが判明した。

●C案のメリットとして、A案と比較した場合、より広く一団の敷地として活用できる、事業費が抑制できる可能性が高い、施工の効率性、水路付け替え財源の有利性が挙げられる。財源の有利性については、A案よりもC案のほうが3億4,000万円程度有利となる。

という説明があり、新たな提案として、A案に近い旧保健センター側に西向き



新たな配置計画案（C-1案）：西間下町永溝一帯

治水・防災に関する特別委員会

- 委員長 福屋 法晴 ●副委員長 宮崎 保
- 委員 宮原 将志・大塚 則男・平田 清吉・井上 光浩・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲

第9回治水・防災に関する特別委員会を開催

平成29年2月28日午前10時から、第9回治水・防災に関する特別委員会を開催いたしました。

初めに平成28年11月に川内川流域における治水対策について現地視察を行っておりましたので、球磨川の治水対策として、今後どう反映できるか検証するためにも、整備が行われていました紅取橋下流域の河道掘削・中神町大柿地区の引提予定箇所、また長年の懸案事項でありました人吉橋左岸下流の現状について、現地にて国土交通省八代河川国道事務所の貫名所長から詳しく説明をいただきました。人吉橋下流については、平成29年度から取り組んでいくことでした。

また人吉市市街地を含め、それぞれの地区におい

ても、安心・安全のために壊れない堤防強化や嵩上げ、遊水地等の事業に、今後着手していかれるとのことでした。治水・防災に関する特別委員会として、今後、地元に対し丁寧な事業説明会を行っていただくよう要望し、閉会いたしました。



一般質問



本市の無縁墓の
現状と対策について



豊永 貞夫

問 以前から課題であった、本市の無縁墓1,913基の改葬対策と、市有墓地空き区画の新規使用公募についての考えは。

答 35年ほど前にも、墓地問題調査委員会で検討されたが、無縁墓改葬には高額な経費がかかるため厳しい状況。また、新規公募については、墓地埋葬等に関する法律に基づく、経営許可の取得が必要とされるなど、さまざまな課題があるため、一つ一つ解決し検討していく。

問 毎年開催されている戦没者追悼式典の参加者の減少が心配されるが、小・中学生参加など今後の式典開催の考えは。

答 遺族会とも協議をし、戦没者の孫、ひ孫など若い世代も参加できる見直しを検討していく。

国民宿舎の
今後の活用について



笹山 欣悟

問 旅カフェの候補地としては、石野公園、城見庭園、国民宿舎の3候補地を選定し検討されているが、国民宿舎に旅カフェを設置する考えはないか。

答 昨年11月から「国民宿舎くまがわ荘における観光施設利用等検討会議」を設置して検討を進めている。さまざまな見地から幅広く施設の利活用も含め、複合的施設も視野に、継続して検討を行うことを組織的決定した矢先に、この旅カフェの問題が浮上った状況にある。今後はこの3候補地に絞って検討を進めるが、国民宿舎への設置は「国民宿舎検討会議」の中で検討し、他の候補地との比較の中で、最終的な旅カフェの整備箇所を早急に決定していきたい。

サテライトオフィス
誘致について 他



宮原 将志

問 本市にIT系企業のサテライトオフィスを誘致する考えは。

答 雇用の確保や地域活性化が期待できることから、積極的にトップセールスを展開し、IT系企業の誘致を進めていく。

問 国民宿舎くまがわ荘を誘致施設として活用してはどうか。

答 どの程度利用するのかによって変わってくるが、規模的に複数のオフィスの集合体を誘致できる非常に興味深い提案であり、今後の検討の一助にしたい。

問 石野公園の道の駅登録に向け、今後どのように取り組むのか。

答 国交省との協議の際、さまざまな課題を提示されたが、道の駅化は地域活性化に有効な施策であり、今後も関係機関と協議を進め、着実に取り組んでいく。

防災及び人吉城跡
広場の整備について



犬童 利夫

問 防災対応について、職員の参加訓練を実施する考えは。

答 実際の訓練をすることで、職員の防災意識の向上が図られ、改善点などが出てくる。訓練の方法など検討したい。また、防災と同時に膨大な応急業務に対応しなければならぬ。関係機関との連携、協力体制を強化し、災害に強い本市の体制づくりを進めたい。

問 旧市庁舎解体後の人吉城跡ふるさと歴史の広場の整備は。

答 旧市庁舎解体後は、遺構の残存状況の発掘調査を実施する。また、史跡人吉城跡整備基本計画を策定し、馬場南側全体の排水についても検討を進める。

※ その他、都市計画道路下林願成寺線の進捗状況などを質した。

被災地への職員派遣と
子ども医療費



平田 清吉

問 県内被災自治体からの、平成29年度の職員派遣要請の有無は。

答 県を通して中・長期の派遣要請があり、県市長会及び町村長会からも協力依頼があつているが、本市では、新市庁舎建設やスマートインターチェンジ整備事業を抱えており、要請の技術系職員や事務系職員の中・長期にわたる派遣は困難である。

問 子ども医療費や学校給食費でふえた事業費は、市債をふやすことで補っているのでは。

答 子ども医療費の完全無料化に要する経費は、平成29年度以降3年間の中期財政計画に見込んでいた。新年度の予算編成において、財源見通しを精査、担当課と詳細なヒアリングを行い、総合的に判断して予算計上した。

ハラル関連企業誘致の
進捗状況は



福屋 法晴

問 中核工業用地のハラル関連企業誘致の進捗状況は。

答 ハラル専用食肉センターを含む食肉加工施設に向け、建物の配置計画、と畜場のライン、空調設備、浄化槽設備や附帯設備について協議を進めている。

問 地域再生計画に記載されている事業が達成されなかった場合の交付金返還の有無は。

答 計画の目標達成期間である平成32年3月31日までは返還の可能性は低いと見込んでいる。計画の趣旨とは異なる業種に売却する場合は返還の可能性も想定。

問 曙橋補修期間中の、通行車両の対応について。

答 基本片側通行とし、大型車のう回路については、警察、関係期間と今後協議を行っていく。

就学援助の入学準備金の
入学前支給を



塩見 寿子

問 国は援助を必要とする時期に、速やかに支給せよと通知している。新入学児童生徒学用品費は入学前支給するべきではないか。

答 いくつかの自治体の事例もあり、国も検討している。今年は無理でも、将来的には対応できるよう努力したい。

問 議会を身近に感じるため、市政に関心を持つためにも「子ども議会」に取り組んだらどうか。

答 まちづくりの人づくりは欠かせない。大変意義深いこと。公約でもあり、実現に向けて準備したい。

問 災害時の避難場所となっているコミセンや学校のバリアフリーは進んでいるか。

答 指定避難所21箇所のうち、障がい者用トイレを13箇所設置。

国保税・介護利用料の
引き下げを



本村 令斗

問 一般会計から国保会計へ法定外繰入を行い、国保税を引き下げている自治体がある。県内45市町村のうち、法定外繰入を行っている自治体はいくつあるか。

答 23市町村。

問 人吉市も法定外繰入を行い、国保税を引き下げるべき。

答 繰り入れは、都道府県化の趣旨に反していると考えている

問 社保協のアンケート集計では、全国の自治体の24%が、低所得者の介護利用料の減免を行っている。本市でも行うべき。

答 次期計画に向け、総合的に検討したい。

問 ダムによらない治水対策に否定的な国交省の説明のおかしさには、きちんとものを言うべき。必要な際しつかり発言したい。



本市オリジナルの
自主財源確保等



高瀬 堅一

問 厳しい財政状況の本市において、自主財源の確保は重要であり急務となる。今後どのように施策を講じ、推進していくのか。

答 全国どこの自治体においても、自主財源の確保は課題である。本市では、諸税や保育料等を滞納なく確保すること。ふるさと納税の目標額1億円を目指す。

問 マスメディアへのあらゆる情報提供は重要。本市の宣伝効果が大きいと思うがいかがか。

答 マスメディアの活用は、本市宣伝の重要な要素となる。市民一体となり取り組んでいきたい。

※ その他、市長の施政方針への疑問・問題の提起、医療費・給食費の無料化の完全実施、活性化事業の推進、中でも観光の積極的推進について質した。

大畑駅舎の購入条件は



井上 光浩

問 「肥薩線を未来へつなぐ協議会」の今後について、えびの市長、湧水町長、球磨村長との協議を行った内容は。

答 新たな組織を設立することに関してはある一定の合意を得た。これまで調査研究を行ってきた成果物を生かしつつ、肥薩線と沿線の魅力を発信することに重きを置き、沿線自治体と一体となった振興を図っていきたい。

問 大畑駅舎の購入について、JR九州側から何らかの条件が示されているのか。

答 JR九州側の条件は、当初100万円を上回る額の提示だったが、協議を経ていく中で、現在無償に等しい条件を提示されている。今後、多角的な見地から検討を行う必要がある。

議会を傍聴しませんか！

市議会では、議会の活動や市政の方向性がわかる本会議を傍聴していただくため、カルチャーパレス2階の仮議場に約30席の傍聴席を設けています。施政方針や議員の一般質問などの傍聴にぜひお越しください。手続きは必要ありません。

なお、当日は市議会本会議の生中継の映像を市内各コミセンで公開しています。また、ご家庭でもインターネットで視聴することができます。



去年6月議会からカルチャーパレス2階に移転した議場（仮議場）

ご意見をお寄せください

市議会では、市民の皆様に議会をより身近に感じていただくため、さまざまなご意見を募集しています。

お気軽にご意見をお寄せください。

人吉市議会事務局 ☎ 22-2111
内線3312・3313

平成 29 年 3 月定例会の議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果
議 第 1 号	平成 28 年度人吉市一般会計補正予算（第 9 号）	原案可決
議 第 2 号	平成 28 年度人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 5 号）	原案可決
議 第 3 号	平成 28 年度人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議 第 4 号	平成 28 年度人吉市介護保険特別会計補正予算（第 5 号）	原案可決
議 第 5 号	平成 28 年度人吉市介護サービス事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議 第 6 号	平成 28 年度人吉市水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議 第 7 号	平成 28 年度人吉市公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議 第 8 号	平成 28 年度人吉市国民宿舎特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議 第 9 号	平成 28 年度人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議 第 10 号	平成 29 年度人吉市一般会計予算	原案可決
議 第 11 号	平成 29 年度人吉市球磨地域交通体系整備特別会計予算	原案可決
議 第 12 号	平成 29 年度人吉市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議 第 13 号	平成 29 年度人吉市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議 第 14 号	平成 29 年度人吉市介護保険特別会計予算	原案可決
議 第 15 号	平成 29 年度人吉市介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議 第 16 号	平成 29 年度人吉市水道事業特別会計予算	原案可決
議 第 17 号	平成 29 年度人吉市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議 第 18 号	平成 29 年度人吉市国民宿舎特別会計予算	原案可決
議 第 19 号	平成 29 年度人吉市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決
議 第 20 号	人吉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 21 号	人吉市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 22 号	人吉市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 23 号	人吉市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 24 号	人吉市個人情報の保護に関する条例及び人吉市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 25 号	人吉市総合計画策定審議会条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 26 号	人吉市公民館条例及び人吉市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 27 号	人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 28 号	人吉市税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 29 号	人吉市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 30 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	選任同意
議 第 31 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	選任同意
議 第 32 号	平成 28 年度人吉市一般会計補正予算（第 10 号）	原案可決
議 第 33 号	人吉市景観計画等策定審議会条例の制定について	原案可決
発 議 第 2 号	人吉市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

平成 29 年 3 月定例会の請願・陳情等の議決結果

付託委員会	件 名	議決結果
総務文教委員会	人吉西小学校開校 130 ～ 140 周年記念事業に伴う急傾斜屋崩れ防止工事施工の陳情	撤 回

議員別表決

「表決が割れた」議案とその議員別表決

賛否が分かれたもののみを掲載しております。（○は賛成、●は反対）

議 案 番 号	議 案	議 員 氏 名																田 中 哲
		塩 見 寿 子	宮 原 将 志	高 瀬 堅 一	大 塚 則 男	宮 崎 保	平 田 清 吉	犬 童 利 夫	井 上 光 浩	豊 永 貞 夫	西 信 八 郎	本 村 令 斗	笹 山 欣 悟	福 屋 法 晴	村 上 恵 一	永 山 芳 宏	三 倉 美 千 子	
議 第 10 号	平成 29 年度人吉市一般会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議長職のため表決には参加しない

平成28年度 議会報告会 及び 意見交換会を開催しました

開催日時：平成29年2月4日（土）午後2時

開催場所：人吉市総合福祉センター



人吉市議会では、市民の皆様に対し議会情報を提供するための一環として、全議員18名が日頃の議会活動の状況を報告するため、今回7回目となる「人吉市議会報告会及び意見交換会」を開催しました。ご参加いただきました皆様には、お忙しい中、会場に足を運んでいただきありがとうございます。会場でいただいた貴重なご意見やご要望は、市議会としまして、今後の議会活動の参考とさせていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

会場でいただいたご意見・ご要望（アンケート含む）

- 社会体育移行は、スポーツと文化だけでなく球磨川での遊びも取り入れてほしい。
- 地域公共交通について、交通手段に困っている高齢者が多い。タクシー券の配付などを検討してほしい。
- 鳥栖にあるようなアウトレットを誘致できないか。市長は営業マンであるべきで、議会も後押ししてほしい。
- 新市庁舎は人吉のまちに合う木造建築でつくってほしい。完成までの情報公開、地元住民のコンセンサスづくりが大事だ。市民参加による市民のための庁舎を。
- 新市庁舎建設については、耐震対策と商店街の活性化をしっかりとやってほしい。
- 防災行政無線の内容がよく聞こえないので、市のホームページにも掲載してほしい。各家庭への有線放送なども検討してほしい。
- 農業者は高齢化等により後継ぎがおらず、耕作放棄地の問題で不安を抱えている人も多い。中間管理機構の権限や
- 預けた土地はどうなるか等、丁寧な説明をしてほしい。
- 観光振興策については、観光客が少ない時期に準備をしておくべき。店や観光施設などが連携して市内を歩かせる工夫を。民間まかせでなく、議会でもアイデアを提案してほしい。
- 球磨川の治水問題は、市民にとって生命と財産を守る上で非常に重要なことだ。議会も市民の意見をしっかりと受けとめてほしい。
- 議会報告会について
 - 委員会ごとと並んでの報告はわかりやすかった。
 - 資料は今年度事業についても添付を。各委員会がどのような思いで進めてきたか、市民の声をどの部分で取り入れたか等の報告を聞きたい。
 - 報告会の案内を徹底させること。その際に市民に内容などを知らせてほしい。
 - 委員会別の開催もより深く話が聞けるのいいと思う。

編集後記

初夏の日差しに真新しい黄色い帽子、それに大きな目のランドセル。私の家の前を元氣よく登校する新一年生の姿が、初々しく見えます。

私たち団塊の世代にとっては、新入生の数に物足りなさも感じますが、初夏の変わらぬ風景でもあります。

去年は熊本地震で被災地はもとより、本市でも地震の風評被害と影響を受け、イベント等の中止や自粛がなされました。子ども達も非日常的な生活を余儀なくされたのではないのでしょうか。

あれから一年、いつ発生するかわからない地震等の災害に、私たち市議会も、市民の皆さんの生命、財産を守るべく、対応策を検討していきたいと思っています。そして、子どもたちが元氣に登校する姿が日常的な風景として、いつまでも続きますように。

（文責・表紙写真提供

田中 哲）

次の定例会は
6月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／田中 哲 副委員長／仲村 勝治
委員／塩見 寿子・宮原 将志・平田 清吉・本村 令斗・福屋 法晴・三倉 美千子